

平成30年度第2回下野市生涯学習推進協議会 議事録（要旨）

日 時 平成30年9月28日（金）13時30分～15時30分

場 所 下野市役所 304会議室

出席委員 委員長 小島 和吉
副委員長 井上 永子
委 員 高橋 美恵子
石田 節男
下山 千恵子
増渕 進
福田 里美
鈴木 健一
武子 保
菅井 貞雄

欠席委員

出席職員 教育長 池澤 勤
生涯学習文化課長 手塚 芳子
生涯学習推進グループ 大門 啓美
漆原 聡
松岡 貴之

公開・非公開の別 （ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 ）

傍 聴 人 1人

報道機関 0人

議事録（概要）作成年月日 平成30年10月4日

議 案

平成31年度実施計画に対する提案の検討

（学習成果を活かした協働のまちづくりへの参画支援）

- （1）各団体の活動成果を活かした協働の推進（学習成果の社会還元）
- （2）協働による学習機会・場の創出

小島委員長	あいさつ
池澤教育長	あいさつ
小島委員長	議題に沿って進める。(1)各団体の活動成果を活かした協働の推進(学習成果の社会還元)(2)協働による学習機会・場の創出について併せて説明を求める。
事務局	本日はワークショップとなる。展開例、シート作成例に基づきワークショップの進め方を説明。
鈴木委員	質問してよろしいか。このワークをどうやって31年度に繋げていくのか。下野市生涯学習推進計画(第二次)は決定済のものであり我々で追加することはできないのではないか。
事務局	今回、考えて頂きたいのは下野市生涯学習推進計画(第二次)についてではなく、31年度の下野市生涯学習実施計画についてであり、こちらは担当課に施策・事業を提案することができる。
鈴木委員	わかった。
	出席委員に2つのグループに分かれてもらいグループ協議 Aグループ：小島委員長、石田委員、下山委員、高橋委員 Bグループ：井上副委員長、鈴木委員、武子委員、福田委員、増淵委員
	テーマ①「各団体の活動成果を活かした協働の推進(学習成果の社会還元)」
事務局	テーマについて配布した資料をもとに説明
高橋委員	どんなボランティアが、どこで活用できるかということか。
事務局	ボランティアには限らない。
武子委員	団体の活動が簡単にやれるような方策を考えればいいのか
鈴木委員	少し違うのではないか。行政との協働ということなので、どう団体と行政をマッチングさせていくかということではないか。
井上副委員長	まず事業を提案して、それが実現するかどうかは行政側の話し合いで決まっていくことと思う。
福田委員	生涯学習情報センターではボランティア登録をされていて、公民館は自治グループを登録している。そういった人材を統括しているところはあるのか。
井上副委員長	ボランティアなら生涯学習情報センターがあり、社会福祉協議会にもそういったデータはある。話は変わるがひとついいか。この抜粋資料でもらった「職員のための協同推進の手引き」は市民向けに公開する予定はあるのか。
事務局	確認する。

事務局	<p>テーマ①についてワーク&発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員比率の男女均等化 ・ 団体活動情報の共有 ・ 行政と市民それぞれのニーズの反映・掘り起こし <p>テーマ②「協働による学習機会・場の創出について」 テーマについて配布した資料をもとに説明</p> <p>テーマ②についてワーク&発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の場の拡大（学校や講座後に市内で実習） ・ 各団体の活動内容・状況の周知、繋がり強化 ・ 市民による講座開設・施設運営
小島委員長 事務局	<p>その他で事務局から何かないか。</p> <p>今回のワークの結果については事務局でまとめて皆様に郵送で報告する。それを確認して修正や異議などあれば委員長と相談して必要があれば修正する。その場合は修正版を改めて送付する。完成した提案を関係各課に提案し取り組みを促す。</p> <p>次回の日程は来年の3月を予定している。以上で閉会とする。</p>